

最近の研究・活動状況

(株)神戸製鋼所

清水弘之

講演者の研究経緯(消耗電極溶接でのチップ内面とワイヤとの接触現象の解析)を説明の
 のち世界の溶接材料市場規模、海外拠点設立の歴史、競合他社、海外進出の流れ、国内市
 場動向、ソリッドワイヤ・フラックス入りワイヤを使用するガスシールドアーク溶接法に
 よる溶接ソリューション(高能率すみ肉溶接、低スパッタ・深溶け込み溶接法、純アルゴン
 シールドによる極低スパッタ・高品質溶接法)等を中心としたソリューション提案、溶接材
 料、材料・マニピュレータ・電源、等について解説され、「国内顧客、海外(新規)既客に
 対して健全で安心な溶接を提供する世界で最も信頼される溶接のプロ集団」と総括された。

更に、最近の研究・活動状況として、R&D 神戸製鋼技報 特集：溶接・接合技術が紹介
 された。



図1 溶接材料市場規模

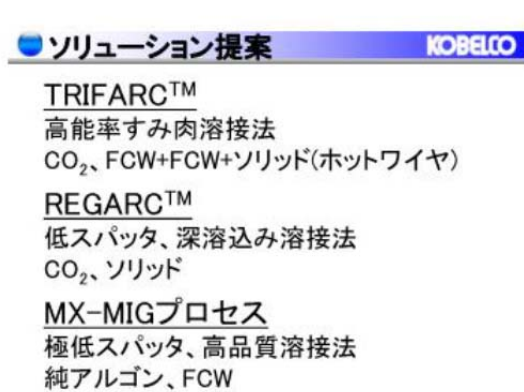


図2 溶接ソリューションの提案



図3 神鋼技報特集：溶接・接合技術

24年度 金澤賞受賞者 (25年5月22日授与)

